

ドライアイスの 教科書

冷たいのは知ってるけれど
『ドライアイス』の特徴を
解説！

【ドライアイスの捨て方編】



株式会社ドライアイスサービス

千葉市若葉区殿台町595-1

TEL : 043-255-5640

<https://www.dryice-service.co.jp/>



Q.ドライアイスってどう捨てるの？

A. 換気の良いところで、自然気化消滅

ドライアイスは換気の良いところ（玄関・ベランダ・庭など）で、自然に気化消滅させましょう。換気の悪い所では酸欠や二酸化炭素中毒の恐れがあります。

ドライアイスは大きいほど昇華に時間がかかるので、砕いて小さくすると早く昇華させることができます。

※NG行動※

・その①「密閉」

ドライアイスは個体から気化する時に、体積が約750倍に膨張します。

ゴミ袋などに直接入れて口を閉じてしまうと同様に膨張し破裂する恐れがあります。

・その②「素手で触れる」

ドライアイスは-79℃の超低温です。

素手で触ると凍傷を起こしてしまう恐れがあります。

乾いている手袋や厚手の手袋などを着用しましょう。

・その③「お湯をかける」

なかなか溶けないからとお湯をかけるのはNGです。

急激な温度変化により大量の二酸化炭素が発生します。

熱湯とドライアイスが飛び散り、とても危険です。

・その④「シンクに流す」

シンクの素材や排水溝に使われている素材の塩ビ管は

急激な温度変化により破裂する恐れがあります。

特に塩ビ管は急激な温度変化に弱いです。



子供やペットが誤って触ったりしないよう
十分注意してください。



ドライアイスの取扱いについて

- ・ **ドライアイスは食品ではありません**

絶対に食べないでください。飲料にドライアイスを入れて炭酸水を作ることはできません。子どもの誤飲にも十分注意してください。

- ・ **凍傷に注意**

ドライアイスが直接皮膚に触れると凍傷が生じることがあります。取扱には手袋を使用してください。

- ・ **「間接的に」冷やす**

冷やすものに直接ドライアイス进行当てるのではなく、間接的に冷やすことをお勧めします。直接冷やしてしまうと、凍ってしまったり品質が劣化してしまいます。

※ -79℃のドライアイスの取扱いについて！ ※			
	ドライアイスは、ペットボトルやビンなどの密閉又は密封された容器に入れないで下さい 破裂して危険です		取扱いには必ず手袋をはめてください 素手で触れると凍傷になります
	運転手や乗客がいる車内に持ち込まないで下さい 中毒もしくは酸欠になり危険です 荷台等の換気を十分出来る場所に積んで下さい		ドライアイスで遊んだり口に入れたりしないで下さい 子供の手の届かない所で保管して下さい
	地下室や換気の無い場所で貯蔵・取扱いをしないで下さい。 炭酸ガスは重いので床に溜まります 十分な換気の出来る場所でご使用ください		ドライアイスは食品ではありません 絶対に食べないで下さい ソーダ水等の炭酸飲料は作れません

【ドライアイスの廃棄方法】 ドライアイスはマイナス78℃の極低温物質です。廃棄は風通しの良い場所で自然に消滅させて下さい。

お問合せ先▼

株式会社ドライアイスサービス

電話番号：043-255-5640

<https://www.dryice-service.co.jp/>

